住まいと暮らしのケアデザイン

design

前号までケアデザイン室で連載していました「午後4時のティーブレイク」に代わり、今号から新たな連載が スタートいたします。シニア世代の住まいと暮らしをテーマに、住まい選びのポイントや手順をケアデザイン に寄せられるご相談をもとにご紹介します。

「安心だけじゃない、楽しむための住まいの選択」

最期まで自宅で暮らしたい。海の見える家に住みたい。ゴルフを楽しみたい。 皆さんは、20年以上あるシニアの時間をどのように過ごしたいですか?

最初の連載となる今回は、趣味を楽しむために住み替えを考えた陽子さん(75歳)のエピソードとともにお伝えします。

象を受け、 感覚に自

今後の住まいについてケアデ

インプラザに相談にこられました。

不安を抱えていることがわかり、 になったときに頼れる人がいない」 子さんの 想いを伺うと、 介護が必要 家事支

は 機

ケ アデザインプラザの サ ポ

をお勧

めしました。

陽子さんは見学

要事

験入居を重ね、

年後に複数

0)

候

とはニーズの確認です。 事にも目を向けていくと本当に望む 住 まいを探すとき、 自分でも意識していない不安や心 最初におこなうこ 単に 要望だけで

者

向

It

0

介護付有料老人ホー

ム

応じて介

護サ

ービスも受けられる

自

なかから茶道を楽しみながら、

必要に

たな暮らしの場として選択されました

暮らし方が見えてきます

不安 しをしたいか・いま困っていること・将来 誰と・どこで・ ・心身の状態・お金のこと」 いつから・ どんな暮ら など

暮らし方を選択

して選ぶ シニア あ 能 りません。 0) 低 世 下 きつかけいは 一代が自宅以外を暮らしの場 などマイナスの思いば 趣味を楽しみたい、 介護や病気、 かり 自

住まい探しのステップ

① ニーズの確認

- ② 高齢期の生活の場の 正しい知識をもつ
- ③ 条件に合った施設の情報収集
- ④ 相談できる人や場所を活用
- ⑤ 資金計画を立てる
- ⑥ 見学や体験入居をおこなう
- ⑦ 疑問や不明点を確認
- ⑧ 契約·入居

(、サービス内容等の詳細時金の詳細や月額費田(事項説明書 の詳細が記れ 載訳

戦されている。欧、退去要件の

てみませんか (体制、#)(居一時点)

事の様子などを知るために体験入居 住宅」をピックアップし、それぞれの特 室と茶道ができる共有部を持 おこなうこと、 高い高齢者施設や住まいについての正し ービスも提供する 見学は複数人で行くこと、 用の目安などをお伝えしました をニーズとして整理しました。 介護が必要になっても暮らせる 項説明 情報 ビスがあり茶道ができることに 陽子さんのニーズに合う可能性 「サービス付き高齢者向 を収集。 入居を決める前には必 書※ 「自立者向けの を 今 確 一回は、 認 夜間や食 す ち、 ること 広 有料 介護 です。 など、 として 由 な時 増えています。

スを受けながら生活ができる有料老

ムの話を聞き見学したもの

8畳 が

老人ホーム」、

そんな時、

友人から食事や掃除のサービ

家事も少し億劫になっていました。

ましたが、

年々教室に通うのが辛くな

0

知

識

茶道を楽しみとして一

人暮らしをしてい

自

一分が望む暮ら

し方を知る

機 中 替

会

度、

将

来の住まいについて考え

暮らしを楽しむため

の住

み

住まいは暮ら

しの

間

が欲

しい、

お友達をつくり

陽子さんはご主人を看送られて5年、

え、

#

住み替えを考えたきっかける

ほ

どの

部屋にベッド、

洗面台とト

1

あ

るの

み

日 中

寝室で過ごすような

分が望む暮らしとは異なる印

執筆者

三井不動産株式会社 ケアデザイン室

渡邉 幸子 [わたなべ さちて]

介護支援専門員(ケアマネジャー)、社会福祉士、精神保健福祉士。地域包括支援センターの相談員として、一人暮らしや認知症の方の暮らし、介護、権利擁護などの相談に従事後、ケアデザインブラザで介護コンサル タントとして、シニアの暮らしにかかわる幅広い相談に対応している。

本誌P34「アライアンスメンバー紹介」ページにて ケアデザイン室が紹介されています。